

歓迎のことば

日に日に暖かさを増す日差しは、グラウンドの雪を解かし桜のつぼみをふくらませていきます。春の訪れを感じさせる今日、入学される新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生を代表して心より歓迎いたします。

さて、私達はこうして出会いの季節を迎えることができますが、山を一つ隔てた地では災害に襲われ、学校に通うことも困難な状況にあることは、皆さんもご存知だと思います。連日報道される被災地の惨状を見て、皆さんは何を思ったでしょうか。学校に通い、学習や部活動をしていることや、家族や友人と一緒に生活をしていることについて、私はこれまで当たり前にあることだと思ってきました。しかし、この当たり前の営みこそが、大切なかけがえのないものである、ということに気づかされました。一日一日を大切に感謝の気持ちを持って生活していきたいと、より一層強く思いました。皆さんにとってこれから始まる高校生活を、当たり前のこととして見過ごすのではなく、何気ない身の回りの営みに対して感謝の気持ちを忘れずに過ごしてほしいと思います。

また、報道の中で被災者の方々が、避難所や学校で友人と再会し、笑顔になっていく様子を見て、改めて仲間の大切さを感じました。この場面を目にしたとき、ある英語のことわざを思い出しました。

A friend in need is a friend indeed.

まさかの時の友こそ真の友である、という意味です。困難な状況にあるときこそ助けあえるような仲間をぜひこの長井高校でつくって下さい。同じ志のもとに集まった者同士、きっとすぐ打ちとけることができるでしょう。また、先生方は優しく熱く指導して下さいませし、私達上級生もいつでも皆さんをお手伝いします。気軽に声をかけて下さい。

さて、いよいよ長井高校での高校生活がスタートします。校訓「萬物備乎我」が示すように、皆さんには無限の可能性が 있습니다。自分自身を信じ努力することで、どんな未来も切り開けるはずでです。感謝の気持ちを忘れず、自分自身の可能性に挑戦し、有意義な三年間を過ごされることを心から願って、在校生を代表して歓迎のことばと致します。